

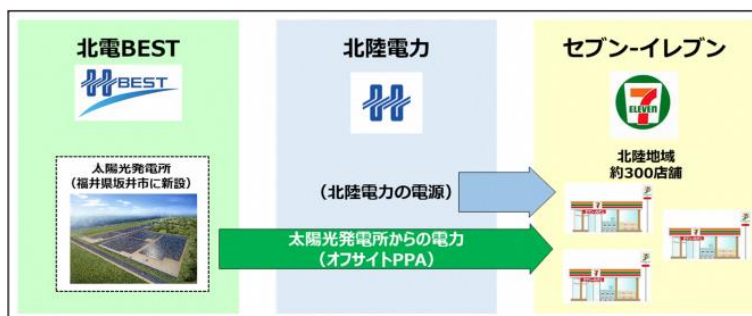
SDGs の取組事例(企業・団体・大学等)

1. 民間企業との取組事例(独自の取組)

<北陸電力(株)>

◆北陸 3 県の「セブンイレブン」向け太陽光電力所の完成披露式(2022 年 6 月 10 日)

⇒北電 BEST が福井県坂井市に太陽光発電所を新設。発電した全ての電力を、北陸電力が北陸 3 県のセブンイレブン約 300 店舗に供給。再生可能エネルギーの地産地消を目指す。



北陸電力ホームページより

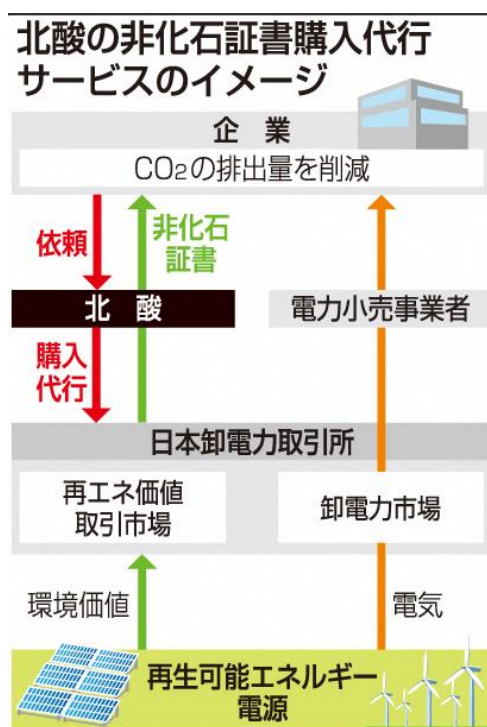


日本経済新聞(2022 年 6 月 10 日)より

<北酸(株)>

◆「非化石証書」購入代理サービスの開始(2022 年 5 月 2 日)

⇒再生可能エネルギーで発電された電気が持つ環境価値を商品化した「非化石証書」の購入代行サービスを開始。証書だけを扱う県内初のサービスであり、市場への登録や入札といった複雑な手続を一手に請け負い、企業の脱炭素化をサポート。



webun 北日本新聞社 (2022 年 5 月 3 日) より

◆ ほくほくサステナブルファイナンス『SDGs 定型目標:ほくほく Three Targets』の取扱開始(2022年4月1日～)

<富山信用金庫>

◆ とみしん SDGs サポートサービスの取扱い開始(2022 年6月28日～)

SDGs経営でビジネスチャンスを広げませんか

とみしん

SDGs

サポートサービス






SDGs達成に向けて

取り組む企業経営者・個人事業主の

みなさまを応援します。





詳しくは裏面をご覧ください。



 富山信用金庫



富山信用金庫ホームページより

<トヨタモビリティ富山(株)>

◆交通スマホアプリ「my route(マイルート)」の累計2万ダウンロードを目標に

⇒マイルートは、トヨタ自動車が提供する複数の交通手段を組み合わせる最適な経路を示す IT サービス「MaaS (マース)」のアプリ。2021 年 3 月より富山市内でのサービスを開始し、1 万ダウンロードを突破。今年度累計 2 万ダウンロードを目標に、県全域へ拡大を目指す。



webun 北日本新聞社 (2022 年 4 月 20 日) より

<日本海ガス(株)>

◆(株)北陸銀行とカーボンニュートラル都市ガスの需給に関する契約を締結 (2021 年 12 月 13 日)

⇒2021 年 5 月に(株)INPEX と購入契約を結んで自社で使用し、9 月より業務用・工業用のカーボンニュートラルガスの販売を開始。12 月に(株)北陸銀行と契約を締結。天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの全工程で発生する温室効果ガスを、CO₂ の削減・吸収に資する環境保全プロジェクトに対して発行されたカーボンクレジットと相殺し、発生する CO₂ を実質的にゼロとしている。



日本海ガス絆ホールディングス(株)ホームページより

<(株)日本政策投資銀行>

◆未来志向型官民連携プログラム発表会の開催(2021 年 11 月 8 日)

⇒富山県と富山市の若手職員でつくる 2 グループが、地域課題の解決を目指したプロジェクトを新田県知事と藤井市長に説明。富山が SDGs を学べる環境であることを広く発信し、修学旅行の誘致につなげる提案等があった。



webun 北日本新聞社 (2021 年 11 月 8 日) より

<カターレ富山>

◆富山市社会福祉協議会に食料品約130点の寄付(2022 年 6 月 14 日)

⇒6 月 5 日のホーム戦で家庭から余った食品を困っている人たちに寄付する「フードドライブ」を行い、サポーターから募った。集まった缶詰や菓子など食料品約 130 点を富山市社会福祉協議会に寄付。



webun 北日本新聞社 (2022 年 6 月 15 日) より

<富山大学>

◆SDGs 教育プログラムの実施(2021 年度～)

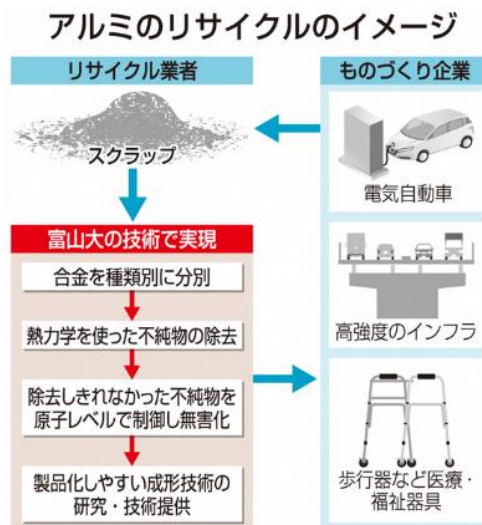
⇒文系・理系の枠を超えて SDGs について幅広く学ぶことにより、世界が直面している様々な課題の理解を深めることを目的した学部横断型プログラムを実施。

SDGs目標番号	目標概要	エントリーレベル	スタンダードレベル	アドバンスレベル
目標1	貧困	6目標以上 且つ12単位以上	9目標以上 且つ18単位以上	12目標以上 且つ24単位以上
目標2	飢餓			
目標3	保健			
目標4	教育			
目標5	ジェンダー			
目標6	水・衛生			
目標7	エネルギー			
目標8	経済成長と雇用			
目標9	インフラ、イノベーション			
目標10	不平等			
目標11	都市			
目標12	生産と消費			
目標13	気候変動			
目標14	海洋資源			
目標15	陸上資源			
目標16	平和			
目標17	実施手段			

富山大学ホームページより

◆「アルミリサイクル」の研究を進め、5年後の実用化を目標に

⇒廃アルミニウムから不純物を取り除き、再び資源として使えるようにする「アルミリサイクル」の研究を進め、5年後の実用化を目指す。リサイクルで再資源化した場合、CO2 排出量を製錬時の3%に抑えることができる。「環境負荷が小さい金属」という付加価値を付けられれば、県内のアルミ産業にも貢献可能。また、2021 年 4 月より熊本大学と連携し、先進軽金属材料国際研究機構が発足。材料工学に関する最先端の材料関連研究を国内外の研究者・技術者と共同して推進し、国・地域の産業振興に貢献することなどを目指す。



webun 北日本新聞 (2021 年 11 月 10 日) より

<富山国際大学>

◆現代社会学部の1年生100名以上による南砺市でのフィールドワークの実施と提案発表 (2021年11月21日)

⇒地域の様々な組織へのヒアリングを通して問題を発見・明確化し、その問題を解決するための手段や対策について、グループワークを通して実践していく取組を実施。

南砺市SDGs未来都市—富山国際大学現代社会学部地域づくり実習包括連携事業

2021年度 南砺市で学んだ「地域づくり実習」発表会
学生目線から見たSDGs事業への提案
こんなアイデア、いかがでしょうか？



富山国際大学では初年度教育として実習型「地域づくり実習」を実施しており、学生が地域に出て社会を体験し、社会参画する体験を通してコミュニケーション能力と学生同士のグループワークを養うことを目指しています。2020年度に引き続き南砺市のSDGs未来都市推進事業と連携を深め、市内10カ所の事業所を訪問し、事業内容や課題を市から確認可能な近郊づくりを求めています。本報告会では実習活動を通して学生目線で発見した学生ならではの様々なアイデアを提案成果として発表させていただきます。なにとぞご来場願ひ、あたためてご意見を頂ければ幸いです。

日時：2021年11月21日（日）13:00~17:00
場所：南砺市役所 別館3階大ホール
(南砺市荒木1550)

・主催：富山国際大学現代社会学部
・共催：南砺市（担当：総合政策部エコビジョン推進課）

【スケジュール】

13:00 開会式（MC：松原 隆雄）
13:10 第1部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
13:20 第2部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
13:30 第3部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
13:40 第4部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
13:50 第5部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
14:00 第6部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
14:10 第7部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
14:20 第8部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
14:30 第9部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
14:40 第10部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
14:50 第11部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
15:00 第12部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
15:10 第13部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
15:20 第14部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
15:30 第15部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
15:40 第16部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
15:50 第17部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
16:00 第18部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
16:10 第19部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
16:20 第20部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
16:30 第21部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
16:40 第22部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
16:50 第23部発表 ノックアウト（発表5分、質疑2分）
17:00 終了

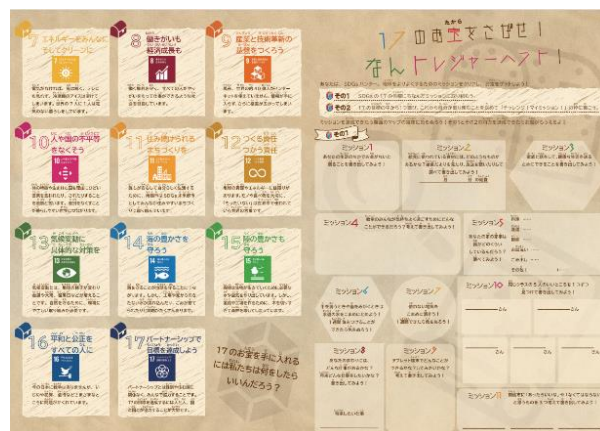
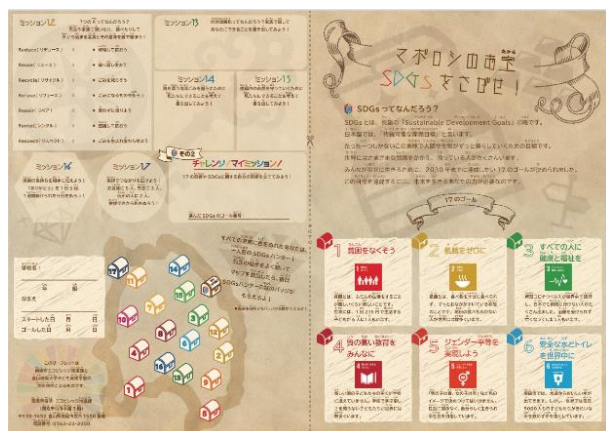
【お問合せ先】富山県富山市東黒牧65-1、富山国際大学現代社会学部（076-483-8000）
南砺市総合政策部エコビジョン推進課



南砺市ホームページより

◆南砺市と協力し、小学生向け SDGs リーフレット及び転入者向けクリアファイルを制作

⇒SDGs リーフレットには、SDGs の概要と 17 のゴールに関するミッションを掲載。全てのミッションに取り組んで用紙を提出すると、オリジナル缶バッジを提供。市内全ての3~6年生（令和4年度の学年）に配布。



南砺市ホームページより

<藤ノ木校下自治振興会>

◆「SDGs 宣言」と位置付け、新型コロナ終息の願いを込めた花火の打ち上げ (2021年8月7日)

⇒自治振興会として「SDGs 宣言」を実施。地元の企業や団体の協力を得て、常願寺川河川敷で花火約500発を打ち上げ、翌日は地元と藤ノ木中学校で清掃活動を実施。藤ノ木中学校では、このほかにも海岸清掃を行い、そこで拾ったごみを分別して、海洋ごみの発生原因に関する探究学習を実施。



<(一社)環境市民プラットフォームとやま>

◆SDGs トークカフェ「地域共生社会と SDGs～誰一人取り残さない地域づくりをみんなで考える～」の開催(2022年1月23日)

⇒「地域共生社会」をテーマに、地域にあるさまざまな課題の実態や今後どのように地域共生社会を実現していけばよいかを、SDGsとも関連付けながら語り合うイベントを企画(30人が参加)。



環境市民プラットフォームとやまホームページより

2. SDGs推進に関する官民連携事例

◆SDGs ラボ(中小企業向け推進セミナー)の開催(2020年度、2021年度)

⇒三井住友海上火災保険(株)と富山市による共同開催。「SDGs」や「脱炭素」を取り入れた持続可能な経営の実現に向け、参加企業が互いに学んだことや気づき、取組を共有しながら、自社の方針と実現可能性の「見える化」を実施。



◆富山広域連携中枢都市職員等を対象とした SDGs セミナーの開催(2022年8月7日)

⇒包括連携協定に基づき、あいおいニッセイ同和損害保険(株)と富山市による共同開催。富山県・富山市広域連携中枢都市圏(富山市、滑川市、立山市、上市町、舟橋村)の職員、企業担当者、高校生等を対象に、座学とカードゲーム「SDGs de 地方創生」を使用したワークショップを実施。



◆大和百貨店での SDGs スクエアの開催(2022年8月10～15日)

⇒大和富山店が主催。行政及び地元企業が連携し、市民への SDGs の周知啓発を図ること等を目的に、富山県や富山市、北陸電力(株)、北陸コカ・コーラボトリング(株)等がブースを出展する他、チャリティ(役目を終えたモノの寄付)やワークショップ等も実施。ワークショップでは地元小学校、高校、大学が活動を報告。



◆SDGs 自動販売機の設置(2022年1月～)

⇒ 北陸コカ・コーラボトリング(株)と富山市の連携協定に基づき、「フードロス削減」に向け、市役所一階市民ホールに SDGs 自動販売機を設置。賞味期限が近い余剰在庫の製品を割安価格で販売。売り上げの一部は市に寄附。

